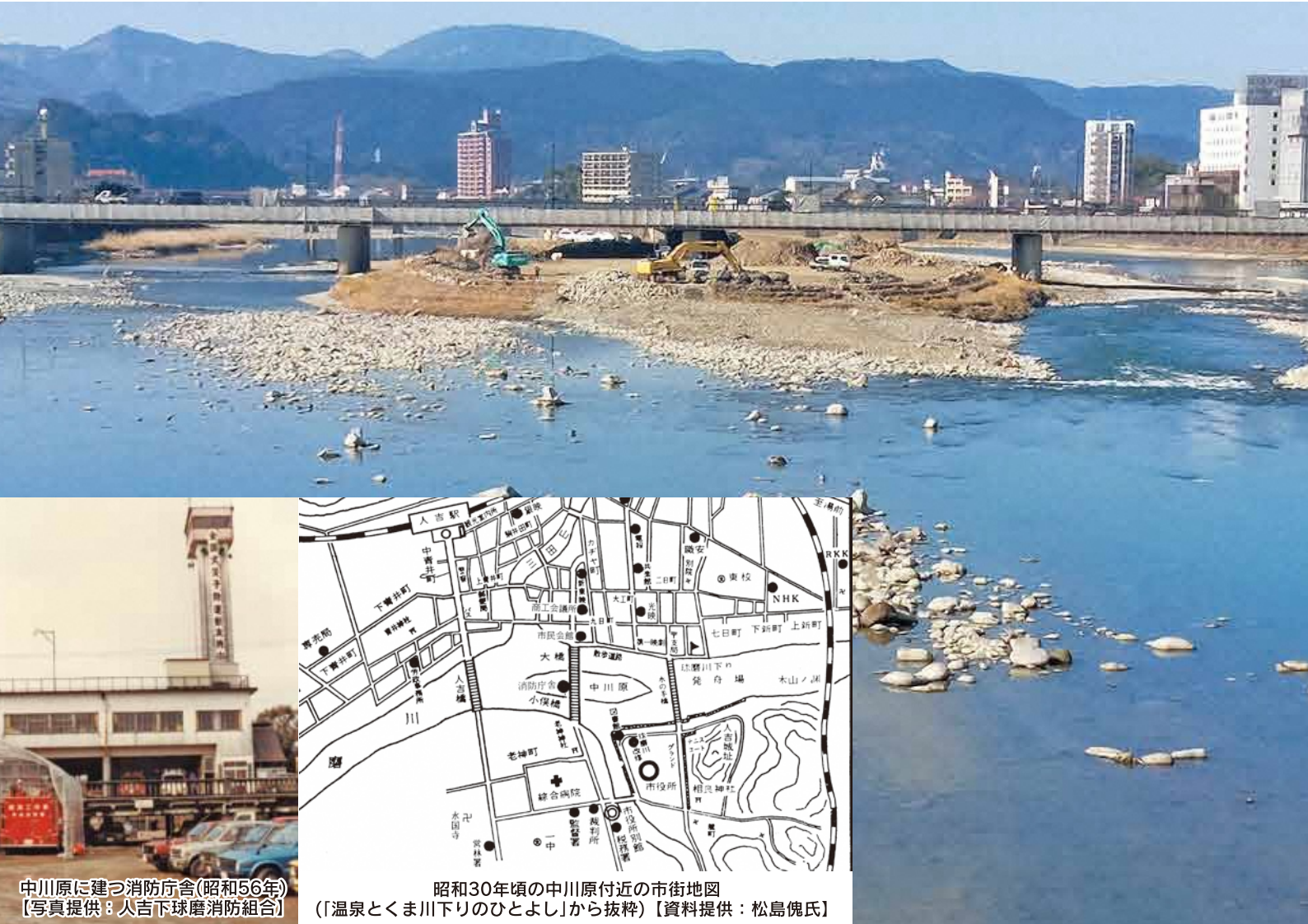


ひとよし 市議会だより

第115号

2023 / 令和5年2月1日 発行



中川原に建つ消防庁舎(昭和56年)
【写真提供：人吉下球磨消防組合】

昭和30年頃の中川原付近の市街地図
(「温泉とくま川下りのひとよし」から抜粋)【資料提供：松島傀氏】

変わりゆく中川原(令和5年1月撮影)

主な内容

- ② 12月定例会報告
- ⑦～⑪ 一般質問 ～市政を問う～
- ⑫ 市民と議会との意見交換会

編集 議会報編集委員会

発行 人吉市議会

人吉市西間下町字永溝7番地1

☎ 0966-22-2111 (代)

E-mail gikai@hitoyoshi.kumamoto.jp

市のホームページでもご覧になれます

URL <https://www.city.hitoyoshi.lg.jp/>

12月定例会報告

令和4年12月第7回定例会は11月29日から12月20日までの22日間開催しました。

一般会計補正予算

16億3,770万8千円 増額可決

(補正後の総額は233億5,195万4千円)



令和4年12月定例会の議案等の議決結果

番 号	件 名	議決結果	番 号	件 名	議決結果
議第57号	令和3年度 人吉市水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	議第87号	人吉市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第58号	令和3年度 人吉市公共下水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	議第88号	人吉市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第73号	令和3年度 人吉市歳入歳出決算認定について	原案認定	議第89号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決
議第75号	令和4年度 人吉市一般会計補正予算(第8号)	原案可決	議第90号	人吉市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第76号	令和4年度 人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	議第91号	人吉市過疎地域の持続的発展の支援に係る固定資産税の課税免除に関する条例の制定について	原案可決
議第77号	令和4年度 人吉市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	議第92号	人吉市国営川辺川総合土地改良事業負担金等徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第78号	令和4年度 人吉市水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	議第93号	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決
議第79号	令和4年度 人吉市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	議第94号	財産の処分について	原案可決
議第80号	令和4年度 人吉市一般会計補正予算(第9号)	原案可決	議第95号	財産の取得について	原案可決
議第81号	令和4年度 人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	議第96号	令和4年度 人吉市一般会計補正予算(第10号)	原案可決
議第82号	令和4年度 人吉市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決	議第97号	人吉市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第83号	令和4年度 人吉市水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	議第98号	人吉市国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第84号	令和4年度 人吉市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	議第99号	人吉市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第85号	人吉市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	発議第10号	人吉市議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決
議第86号	人吉市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決			

令和4年12月定例会の請願・陳情等の議決結果

付託委員会	件 名	議決結果
総務文教委員会	中心市街地の複合施設設置に関する陳情	継続審査

議員別表決 …「表決が割れた」議案とその議員別表決…

賛否が分かれたもののみを掲載しております。

議案 番号	議員氏名 議案		松村	徳川	池田	牛塚	西	宮原	高瀬	宮崎	平田	犬童	井上	豊永	福屋	本村	田中	大塚	西
			太	禎郁	芳隆	孝浩	洋子	将志	堅一	保	清吉	利夫	光浩	貞夫	法晴	令斗	哲	則男	信八郎
議第 73号	令和3年度 定について	人吉市歳入歳出決算認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	／

○：議案に対して賛成 ●：議案に対して反対 ／：議長は表決に加わりません

10月臨時会報告

10月14日開催の第6回臨時会では、電力・ガス・食料品など価格高騰の影響が特に大きい低所得者世帯を支援するための国の給付金事業や、台風14号に伴う災害復旧などに伴う補正予算1議案を原案可決しました。

令和4年10月臨時会の議案等の議決結果

番 号	件 名	議決結果
議第74号	令和4年度 人吉市一般会計補正予算(第7号)	原案可決

令和4年度 一般会計補正予算を承認

総務部・復興政策部関係の主なものは、くま川鉄道(株)において行っている災害復旧事業について、本市が構成市町村を代表し、熊本県市町村振興資金の復旧資金を借り入れ、くま川鉄道(株)に貸付けを行う貸付金や大柿地区移転促進のため、地区外へ移転新築または移転先住宅の改修に係る費用を支援するための交付金などです。

教育部の主なものは、村山公園テニスコートの壁打ちブロック塀が、建築基準を満たしていないため撤去を行う工事費や人吉スポーツパレスの卓球台を購入するものなどです。

委員から「村山公園テニスコートの壁打ちブロック塀撤去後の再建の予定は」との質疑に「建築基準法では2.2メートル以下という基準があり、壁打ちブロックを横のフェンスと同じ高さまで切り下げを行う」との答弁。また、「卓球台は全て買い替えるのか」との質疑に



撤去予定の村山公園テニスコートブロック塀

は「卓球台はすべてスポーツパレス開館時に揃えたもので、経年劣化が進んでいることから24台全ての卓球台のネットを含めて購入する」との答弁がありました。

地方公務員法の一部を改正する法律の施行等に伴う関係条例の整備に関する条例を承認

今回の条例改正は、地方公務員法の一部の改正に伴い、定年年齢を65歳まで段階的に引き上げることや管理監督職勤務上限年齢制の導入等の措置が講じられることから、人吉市職員の定年等に関する条例の改正等の関係条例の整備を行うものです。

委員から、「65歳まで定年が延長された場合に職員全体の人数が増えていくと思うが、新規採用や定員適正化計画への影響は」との質疑に、「定員上管理するのが常勤職員を定員としてカウントしており、短時間勤務職員は数字上入らないが職員の数としては増えていくことになる。そのため、前年度の意向調査を基にしながら毎年の職員採用はやっていきたい。また、現在の定員適正化計画では定年延長が加味されていないことから、加味した計画を早急に策定したい」との答弁がっております。

行政視察

日程：令和4年11月15日(火)～17日(木)

視察先：兵庫県加古川市

項目：加古川市のスマートシティについて

内容：見守りカメラを小学校の通学路や学校周辺を中心に1,475台設置。ビーコンタグ(BLEタグ)を活用し、子どもや認知症のため行方不明となる恐れのある高齢者の見守りサービスの普及に取り組まれ、設置から約4年で犯罪件数が半減しています。

他にも、市民参加型合意形成プラットフォームとしてDecidim(デシディム)の導入や地上デジタル波を用いた新しい災害情報伝達手段の導入等の取組をされています。

まとめ：本市においてもスマートシティの取組を進めているが、子どもの見守りや高齢者認知症の方へのサポート、災害情報の可視化など参考になる部分が多くありました。今後、スマートシティを推進し地域課題を解決していくには、多くの市民の声を拾っていくことや市職員の意識改革・デジタル人材の育成も重要であると考えました。



スマートシティについて

視察先：京都府京丹後市

項目：京丹後市の公共交通政策について

内容：ささえ合い交通事業として、道路運送法に基づく公共交通空白地有償運送では全国初となるICT(ウーバーアプリ)を活用し、地元の住民ドライバーがマイカーを使って住民や観光客・インバウンド客の移動をサポートしています。

他にも、市内の路線バス料金が上限200円とする取組やエリア内なら月額定額乗り放題のAIオンデマンドモビリティの実証などを行っています。

まとめ：本市においては平成22年度に「まめバス」、平成24年度に予約型の乗り合いタクシーを導入しているが、目立った見直しはしていないことから、京丹後市の取組は参考になりました。市民のニーズ、財源、民間事業者との兼ね合いもありますが、今後の公共交通のあり方を考えていかなければならないと感じました。



公共交通政策について

厚生委員会報告

●委員長 高瀬 堅一 ●副委員長 本村 令斗
●委員 徳川 禎郁・池田 芳隆・平田 清吉・井上 光浩

条例案件の3件を承認

「人吉市過疎地域の持続的発展の支援に係る固定資産税の課税免除に関する条例の制定について」は、製造業・旅館業・情報サービス業等・農林水産物等販売業の内、事業者の規模毎に定めている減価償却資産の取得価格の合計を超える設備を取得した場合に、固定資産税の課税免除をするものです。

「人吉市国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について」は、新型コロナウイルス感染症に係る傷病手当金が、令和5年3月31日までに延長されるものです。

「人吉市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について」は、熊本県後期高齢者医療広域連合の条例の改正に伴い、市条例の一部を改正するものです。

一般会計補正予算2件を承認

工事請負費の増額補正は、特定空き家除却工事費で、昭和40年の水害時の応急仮設住宅とみられ、すでに老朽化し危険性の高い物件のため除却工事を行うものです。

委員から「土地所有者の責任は。公費を投入していい

のか。他にも例があるのでは。」等の質疑と意見が多く出ました。執行部からは「一連の流れについては弁護士に相談し指導を得ている。今後さらに調査検討を行い慎重に対応したい。」との答弁があり、委員会として「今後同様の事例発生への危惧。説明資料等の精査。令和2年7月豪雨災害の資料等の管理・保存の努力。」等の申し入れを行いました。

また、給付金の増額補正は、現在の光熱水費等の高騰により影響を受けている、介護施設・医療機関などに対して給付するものです。

特別会計補正予算の4件を承認

「国民健康保険事業」は、国県支出金の精算に伴う補正が主なものです。

「介護保険事業」は、職員の時間外等勤務手当やコンビニ収納等手数料の増額です。

「水道事業」は人件費の増額補正が主なものとなっています。

「公共下水道事業」は、青井宝来排水区整備実施設計業務委託料の計上が主なものです。約580メートルの測量及び実施設計です。

行政視察

日程：令和4年10月31日(月)～11月2日(水)

視察先：群馬県安中市

項目：「ひきこもり支援」について

内容：安中市では「NPO法人ピーピング」が熱心に活動しており、それを行政がしっかりと応援しているという体制でした。中でも、セミナーや講演会開催等を積極的に行い、家族や地域でひきこもりについての理解を深めることを積極的に行っていました。

まとめ：本市においても、ひきこもり支援のためには行政の支援が不可欠だと感じました。中には医療的なケアが必要な方もおられるので、医師会との連携も重要であると認識しました。さらにセミナーや講演会等を開催し「ひきこもり支援の環境づくり」を行うことの大切さを痛感しました。

視察先：静岡県御殿場市

項目：「エコガーデンシティ構想」について

内容：産官学金連携と市民参画により脱炭素や景観形成、産業・経済振興が好循環するまちを目指す取組です。脱炭素に地域の活性化をあわせて取り組んでいるところは、本市でも取り入れるべき視点であると感じました。企業と連携し地域の元気につながる取組でした。県外の企業からの引き合いも多くあるとのことでしたが、世界遺産である富士山のイメージが背景にあると思われます。

まとめ：本市においては、今後、市民に説明を行いどのような取組で効果的な協働ができるのかを引き出していく必要があると思いました。企業誘致についても同時進行で行い、民間企業から「市とタイアップして事業を行いたい」との意志を動かす努力の必要性を感じました。



ひきこもり支援視察



「NPO法人ピーピング」での視察



エコガーデンシティ構想視察

経済建設委員会報告

●委員長 田中 哲 ●副委員長 牛塚 孝浩
●委員 西洋子・豊永 貞夫・福屋 法晴・大塚 則男

条例1件、財産の処分1件、財産の取得1件、予算案件1件を承認

条例は、人吉市国営川辺川総合土地改良事業負担金等徴収条例の一部改正です。これは令和3年3月26日に人吉市国営川辺川総合土地改良事業負担金等徴収条例が公布、施行された後、農林水産省から説明があり、特別会計で実施する国営川辺川総合土地改良事業のうち、農地造成事業及び区画整理事業に係る農家負担金は、資産の譲渡等の対価に該当することから、消費税の課税対象となるとされています。このため、消費税を農家から徴収できるようにするために改正を行うものです。

財産の処分については、人吉市田野町にある土地、1万7,857平方メートル。建物、1,012.89平方メートル。その他附帯工作物等を売却するものです。相手方は、人吉市合ノ原町、高橋酒造株式会社。処分価格は2,510万円です。

3件目は、財産の取得についてです。これは下原田第一仮設団地を市営単独住宅として利活用するために、人吉市下原田町に所在する土地、6,806.02平方メートルを、宮崎県東諸郡国富町、株式会社黒木木材から、6,261万5,384円で購入するものです。

予算案件は、人吉市一般会計補正予算(第9号)で、農

林業関係で主なもの、農地費、委託料の増額で、これは上原田町に国営事業で整備した、農業用水を貯留する、ファームポンド施設内に生い茂った雑木を伐採するための支障木除去委託料です。

次に商工関係では、商工業振興費の増額で、これは「貨物運送業者等支援給付金(物価等高騰対策)」で、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、原油価格高騰の影響を受けている運送業者等に対して、大型自動車・中型自動車は1台当たり4万5,000円、普通自動車・軽自動車は、1台当たり1万8,000円を交付し支援をするものです。

建設関係では土木費の、道路橋梁費「城本下城本線」外の測量設計委託料の増。都市計画費で、青井地区が県の施行となり、本市の事業費の負担が減ったことにより、被災市街地設計等業務委託料を1億500万円減額するものです。



市道城本下城本線(避難路整備)

行政視察

日程：令和4年10月4日(火)～6日(木)

視察先：新潟県糸魚川市

項目：駅北大火からの復旧・復興について

内容：平成28年12月22日に発生した糸魚川駅北大火は、中心市街地の約4ヘクタールに延焼し、焼損棟数は147棟にのぼりました。

復興に当たっては、「カタイ絆でよみがえる笑顔の街道糸魚川」を目標として、「災害に強いまち」「にぎわいのあるまち」「住み続けられるまち」の3つの方針を掲げ復興まちづくりを推進されていました。

まとめ：令和2年7月豪雨による災害からの人吉市の復興まちづくりにおいても、糸魚川市が「※^{かんぎ}雁木の糸魚川」をうたってあった様に人吉らしさ、景観に配慮したまちづくりのあり方、人が戻って来るように、土地利用のあり方等を考え、スピード感を持って復旧・復興を進めることが必要であると感じました。

※^{かんぎ}雁木…本州日本海側地域の町場において、積雪下においても通行機能を確保するために町家の^{ひさし}庇などを長く張り出して、下を通路としたもの。



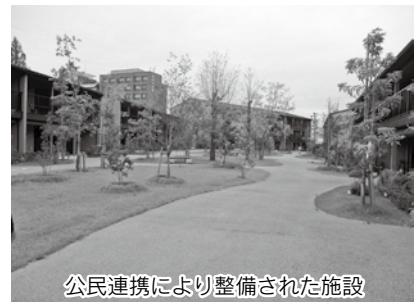
復旧された町並み(雁木)

視察先：大阪府大東市

項目：公民連携によるまちづくりについて

内容：大阪府大東市は、同市出資の民間企業である大東公民連携まちづくり事業株式会社と共に、地域に点在する公的資産を活用して、一体的・段階的にエリア開発を進める「北条まちづくりプロジェクト」を推進されています。同プロジェクトの第一弾として、全国初の官民連携による市営住宅の建て替え、再開発プロジェクトにより借上公営住宅、公園、生活利便施設等を令和3年3月にオープンされていました。

まとめ：大東市は近郊に大都市があり、人口の違いもあって、公民連携での市営住宅の建て替え等のプロジェクトができたのではないかと感じました。しかし人吉市でも、まちづくりを立ち上げる人材の必要性、市の柔軟な発想、公共施設に民間活力をどう生かしていくのか等のガイドラインを策定する時期がきている等の意見がありました。



公民連携により整備された施設

治水・防災に関する特別委員会報告

●委員長 田中 哲 ●副委員長 池田 芳隆 ●委員 全議員

県営市房ダム、清願寺ダムを視察

令和4年11月30日(水)に開催した第13回本特別委員会は、県営市房ダム、県営清願寺ダムを視察しました。市房ダムでは熊本県土木部河川港湾局長、市房ダム管理所長から、ダムの概要と令和4年9月19日の台風14号でのダム操作等について説明を受けました。

質疑では、委員から9月19日時のダム上流部の降雨及びダムへの流入量、ダムの空き容量、緊急放流の時間と軽減効果、サイレンの伝達方法等への質疑応答がありました。

まとめでは、「巨大台風や線状降水帯が発生した場合、ダムも常に効果を発揮できるわけではない」「緊急放流時等の情報発信のタイミングを考える必要がある」「高齢者や若年層にも分かるような幅広い情報伝達の方法」「球磨川流域の他の自治体の議員間で流域治水に対して共通認識が持てるように、国や県の説明会も必要と思う」等の意見がありました。



市房ダム(水上村)



清願寺ダム(あさぎり町)

復興のまちづくりに関する特別委員会報告

●委員長 宮原 将志 ●副委員長 西 洋子 ●委員 全議員

第15回の復興のまちづくりに関する特別委員会では、「大柿地区のあり方に係る今後の方向性について」審査を行いました。

大柿地区については、国の防災集団移転促進事業を活用した集団移転を提案され、住民の皆様にご意見を確認されてこれましたが、様々な形で再建の意向があり、意見がまとまるのが難しい状況でありました。そこで、現状を踏まえた新たな対応策を講じる必要があるということで、今後の大柿地区における住まい再建に係る方針とそれに伴う支援策について説明がありました。

支援策については、遊水地整備対象区域外に居住する世帯において個別での移転を進めるため移転促進事業の創設を考えており、大柿地区外、かつ人吉市内にて再建をされる世帯に対し、再建の形態に応じて発生する経費などの支援を行うものであるとの説明がありました。ま

た、遊水地整備対象区域に居住する世帯については、遊水地事業による国の補償対象となることから、この移転促進事業の対象からは外させていただきたいとの説明もあっております。

委員から、「支援金の積算根拠について」質問があり、執行部から「県が今年度から制度化した復興基金を使った事業をベースに設計している」との答弁があっております。他にも、該当する世帯数や大柿地区以外での支援の考えなどについて委員から質問がありました。

また、第16回の復興のまちづくりに関する特別委員会においては、「人吉市復興計画及び人吉市復興まちづくり計画に基づく取組状況について」と「人吉市復興まちづくり計画の進捗について(青井地区・中心市街地区)」の2項目について審査を行いました。



一般質問
通告書は
こちらから

一般質問 ～市政の内容を問う～

各議員の項目にあるQRコードをスマートフォン等の専用アプリで読み取ると、一般質問の録画映像がご覧いただけます。

QRコードは特許・商標の登録商標です。

高齢者支援対策(買い物)について



大塚 則男



動画視聴

問 65歳以上の人口と高齢化率及び高齢化に伴う今後の課題は。

答 65歳以上の人口は1万1557人で、高齢化率は37・53%。65歳以上の夫婦二人暮らしが30・71%、一人暮らしが20・4%である。

高齢者世帯や一人暮らしの高齢者の増加が予想され、加齢や免許証返納、身体的理由により外出を控える方や、買い物・通院などが困難になる方の増加が考えられる。

問 買い物支援事業の必要性についての考え方は。

答 外出が困難になる方や、外出に伴う経費が膨らむことから買い物に困難になる方は増加すると思われる。買い物支援事業の必要性は高まるものと考え、今後も継続していく必要があると認識している。

带状疱疹予防接種と ピロリ菌検査について



豊永 貞夫



動画視聴

問 80歳までに3人に1人が罹患すると言われている带状疱疹の予防接種は、50歳以上が対象となっているが、接種費用が高額なため全国で半額助成する自治体が増えている。本市でも助成をする考えは。

答 現時点で予防接種法上の定期接種や臨時接種等には含まれていないため、本市としては感染症の発生及び蔓延を予防し、公衆衛生の向上に努める取組を進めていく。

問 国際がん研究機構が、1993年に胃がんの原因の一つはピロリ菌だと結論を出している。これまでもピロリ菌検診について、中学生3年生を対象にした検査を提案していたが、本市の検査の考えは。

答 検査結果を判断する医師の確保等解決すべき課題もあり、県内他市の状況を確認し検討したい。

復興計画進捗状況、 高等教育機関設置を要望



牛塚 孝浩



動画視聴

問 薩摩瀬地区防災ステーションや大柿地区遊水地計画は、再建後の地権者が目安になるよう、税負担も含めた数字の提示ができないか。

答 補償額は、詳細な調査の後、所有者ごとに異なるため示せないが、再建後の税負担は税務課に個別で相談いただきたい。

問 若者の地元修学・就業促進のため、短大や専門学校の新設へ向けた取組ができないか。

答 産官学等の連携による研究機関や大学など、高等教育機関の存在は重要視しているが、課題も膨大。既存大学のキャンパスや研究機関などの進出は、市発展へつながるため、そのような可能性を探っていくことも振興策の一つと考える。

※その他、商品券事業の在り方や、抗原検査キットの無料配布を要望。



復興まちづくり計画及び被災者への税の特例



平田 清吉



動画視聴

問 市営三日原団地への現在の入居状況と、今後の整備計画は。

答 現在の状況は、16世帯32名が入居中。人吉市公営住宅等長寿命化計画第2期では、三日原、東間米山、麓、荒毛、相良団地の5団地を用途廃止団地として位置付けており、令和5年度に、入居者への説明会や移転交渉を予定している。

問 被災された方々が、住宅再建された家屋への税の特例はあるのか。

答 令和2年7月豪雨により滅失又は損壊した家屋に代わるものとして、取得又は改築された場合には、固定資産税、都市計画税の税額のうち、被災家屋の床面積相当分を、令和7年3月31日まで取得の翌年から4年間、2分の1を減額している。特例措置を受けるには被災家屋の所有者である等要件が必要。

SL人吉蒸気機関車のくま川鉄道運行に期待



福屋 法晴



動画視聴

問 観光列車SL人吉が、部品の難しさや老朽化を理由に引退となるが、人吉駅周辺に展示できないか。

答 JR人吉駅の石造りの機関庫で保存展示活用し、新たな活動拠点として本市での展示ができるよう、関係機関と実現に向け、取り組んでいきたい。

問 人吉球磨地域の観光の目玉・起爆剤として、SL人吉をくま川鉄道（旧湯前線）で運行することは考えられないか。

答 SL人吉は以前、現くま川鉄道を走っていたので、走行は可能であるが、現状の線路・鉄橋等の安全面など検証が必要。再び走らせるにはハードルが高いと考えるが、地域一丸となり、くま川鉄道の利用促進策として検討していきたい。

視覚障がい者への合理的配慮について



徳川 禎郁



動画視聴

問 新市庁舎へ視覚障がい者向けの音声案内「エコーカード」を導入しているが、今後どのように周知、啓発、活用していくのか。

答 活用については、エコーカードを必要とされる障がいをお持ちの方の需要や利用意向等も確認できていない状況であり、今後関係各課と協議を進めながら運用の方法を含め判断していきたい。

問 音声案内付きの多機能トイレがある市庁舎を視覚障がい者の避難所としての活用はできないか。

答 セキュリティ等の安全面、避難者への配慮、また、協力者の支援等、多くの課題がある。※その他、復興まちづくりにおいて統一感のある公園等の整備、小・中学校のトイレへの生理用品設置について質した。

人吉市にスケートボードパークの整備を！



宮原 将志



動画視聴

問 公共施設管理コストの縮減に向けた管理運営の検討状況は。

答 鉄道ミュージアムとまち・ひと・しごと総合交流館については、令和6年度から指定管理者制度への移行に向け準備を進めたい。

問 公共施設にスケートボードパークが設置できないか。

答 使用されていない施設や施設の一部開放などで対応可能ではないかと考えている。また、中川原の利活用を検討する段階の中で、子供から高齢者まで集える街中の場所として、候補地の一つではないかとイメージしたところでもある。いずれにしても、規模や安全性など総合的に検討を行っていききたい。



まめバス問題と松岡市長の出馬表明より



田中 哲



動画視聴

問 通称まめバス、利用者が極端に少ないことから、地元ではゴーストバス、幽霊バス、透明人間バスと揶揄されている。是正するところは是正し、予算が必要なところに振り向け、予約した人が必ず乗車する予約タクシー等の合理的、利便性にあつた交通網を早急に構築してはどうか。

答 まめバスから乗合タクシーへの転換等、利用者ニーズや財政面も考慮した上で、地域公共交通の再構築を目指していきたい。

問 目指す人吉像の中で、観光資源の開発は重要と思うが、「観光列車S.L.人吉」の保存に向けた市長の本気度は。

答 今後は市長として先頭に立って、肥薩線沿線の皆様のお力もお借りし、実現に向け走り始めたい。

高校生までの医療費無料化を 他



本村 令斗



動画視聴

問 球磨郡の町村や熊本県内の市で、高校生までの医療費無料化は、どこまで広がっているのか。

答 球磨郡では全ての町村、県内では6市が無料化している。

問 人吉は中学生まで。高校まで無料化するには、あといくら必要か。

答 750万円ほど。

問 医療費を、高校生まで無料化すべきではないか。

答 他の予算との兼ね合いや県の補助など、充当できる財源状況を見ながら検討していく必要がある。

問 仮設住宅の方から「移動手段が無くバス停が遠いためタクシーを使っているが、負担が大い」という声が聞かれる。福祉タクシー券の交付を行うべきではないか。

答 国や県の補助金を含め、有効な支援策の検討をしていきたい。



本市の公共交通について 他



宮崎 保



動画視聴

問 公共交通の具体的方向性は。

答 地域公共交通の効率化や維持等は地方部のみならず都市部でも、形態は様々な課題がある。本市の地域間を結ぶ幹線系統の路線バスが本市を起点に運行し、くま川鉄道、市内完結の路線バスなど複数の形態で運行されている。方向性は、地域公共交通計画を策定中で、地域公共交通に対するニーズが多様多様となっていると感じている。今後のまちづくりのあり方など考慮したうえで、誰もが暮らしやすい社会の実現、希望ある復興を支える基盤として、より利便性が高く持続的な移動サービスの提供に向けた地域公共交通の構築を地域一丸となって目指していきたい。

※学校施設等の現状と管理、西瀬橋架け替えに伴う安全対策を質した。

避難所整備について



西 洋子



動画視聴

問 高齢者等避難の発令と同時に避難所開設となる。高齢者等避難の有効性を高めるために、避難所整備は根本から考え直してほしい。学校体育館の指定避難所は、段差や大人には狭すぎるトイレなど、高齢者にとって課題しかない。改修の考えは。

答 段差の解消は構造上対応できないところもある。トイレについては検討していきたい。校区外の避難所の使用も可能としている。

問 広い空間では乳幼児のオムツ交換や授乳スペースだけではなく、大人のオムツ交換などプライバシーが守れない。空間整備の取組状況は。

答 簡易テントを配置した。それでも不安を感じる方へは、乳幼児避難所や福祉避難所を案内したい。

簡易テントを配置した。それでも不安を感じる方へは、乳幼児避難所や福祉避難所を案内したい。

避難所運営及び森林の管理について 他



犬童 利夫



動画視聴

問 避難所の感染症対策と食物アレルギー対応の食糧品備蓄は。

答 総合防災訓練で新型コロナウイルス感染症対応等の訓練を実施した。保健所等の指導もあり、有意義な訓練ができた。備蓄用の食糧品について、今回の改正に沿ったアレルギー対応の食糧品を備蓄している。

問 個人所有の森林の管理は。

答 適切な森林の経営管理を促し、所有者自らが管理を実行できない場合は、市が経営管理の委託を受けて管理を実施していきたい。

問 7月豪雨で被災した人吉市民プールについて、今後の方向性は。

答 現在、市民プール検討委員会で審議されている。市民の健康増進のための環境整備などの委員の意見を基に審議され、令和4年12月中をめどに市長へ答申を行う予定。



松村 太



動画視聴

問 山田川堤防改修の詳細な説明が必要ではないか。

答 球磨川水系河川整備計画に基づき越水等による破堤防止対策、堤防道路補強工事を実施中で、説明会を県に求めるなど住民理解が深まることが重要と認識している。

問 市民が命を守ることができる避難路等整備への取組は。

答 視覚的な誘導方法や浸水情報収集のシステム活用など検討したい。

問 人吉地点に影響のある球磨川水系の集水面積はどれくらいか。

答 3流域あり、市房ダム流域が158平方キロメートルで全体の14%。川辺川流域が533平方キロメートルで47%。その他流域が446平方キロメートルで39%。

※その他、ICT教育関連と市長の目指す教育について質した。



令和3年度 歳入歳出決算を認定

令和3年度決算を審査するために、令和4年9月定例会で決算特別委員会を設置し、継続審査となっていました。その後閉会中を含め4回にわたり慎重に審査を行いました。

11月29日の本会議において、委員長から審査の経過及び結果についての報告を行い、歳入歳出決算については賛成多数で認定されました。

同特別委員会では市に対し、4つの個別の指摘・要望事項とあわせて、今後の財政運営に当たっては、人吉市復興まちづくり計画を核として被災者に寄り添った災害からの復旧・復興事業に努めながら、引き続き行財政運営全般にわたる改革を推進するとともに、財政状況をより正確に把握・分析し、歳入の最大限の確保及び、歳出全般にわたる徹底した見直しによる歳出総額の集中と選択による抑制と重点化を進め、効率的で持続可能な財政運営を行われるよう要望しました。

	歳入総額	歳出総額
一般会計	324億4,466万8千円	319億8,411万2千円
特別会計(水道・下水道を除く)	94億2,024万2千円	88億5,336万1千円
合 計	418億6,491万円	408億3,747万3千円



令和3年度水道事業特別会計・公共下水道事業特別会計 利益の処分及び決算を可決及び認定

令和3年度水道事業特別会計・公共下水道事業特別会計の利益の処分及び決算を審査するために、令和4年9月定例会で厚生委員会に付託されて継続審査となっていました。その後閉会中に3回にわたり慎重に審査を行いました。

11月29日の本会議において、委員長から審査の経過及び結果についての報告を行い、利益の処分及び決算については、全会一致で可決及び認定されました。

厚生委員会では、今後の水道事業の経営について、3つの個別の要望事項とあわせて、引き続き公営企業の原則である経済性と公共の福祉増進に沿って経営の効率化、健全財政及び収益性の向上を推進されることはもちろんのこと、本市の将来を見据えた計画的で確実な事業の実施、さらには大規模災害を視野に入れた危機管理能力に優れた組織・体制づくりの構築に努め、将来にわたって低廉で清浄かつ豊富な水の安定供給ができるように要望しました。

また、今後の公共下水道事業の経営について、4つの個別の要望事項とあわせて、「人吉市下水道事業経営戦略（ストックマネジメント計画）」に基づき施設等の維持管理に努めるとともに、経営の効率化、健全化の推進、収益性の向上を図りつつ、持続可能な事業運営に努められ、さらなる市民サービスの向上を図られるよう要望しました。

人吉市老人クラブ連合会との意見交換会

厚生委員会（委員長：高瀬堅一、副委員長：本村令斗、委員：徳川禎郁、池田芳隆、平田清吉、井上光浩）は人吉市老人クラブ連合会（8名）と意見交換会を実施しました。

日 時：令和4年11月22日（火）13：30～15：00

場 所：カルチャーパレス 第2会議室

テーマ：持続可能な人吉市老人クラブ連合会の
あり方について（会員増強）



《こんな意見がありました》

- ・ 70才代まで現役で仕事をしている方が増えていることも会員数が増えない原因か
- ・ カルチャーパレス会議室の使用料について減免の制度を
- ・ 自主講座の開催や、ゆるりんセンターのような高齢者の居場所が必要
- ・ 福祉バス、使いやすいバス等が必要
 - カルチャーパレスまで運転してくることに抵抗がある
 - グラウンドゴルフへ車で行くことが難しい方が増えた
- ・ バスなどの環境整備をすることで、医療費や介護費が減ると思われる
- ・ 老人クラブ活動に対して保険を掛ける等の活動しやすい環境にすることも必要
- ・ 老人福祉センターの復活

*** 市議会の虚礼廃止にご理解を！ ***

公職選挙法では、次のようなことが禁止されています。

- 議員や後援会が寄附をしたり有料のあいさつ広告を出すこと
- 議員や後援会が儀礼的な祝儀、香典、供花を出すこと
- 議員や後援会がお中元やお歳暮をすること
- 議員が暑中見舞いや年賀状などのあいさつ状を出すこと
- 市民や団体が議員に寄附などを求めること



市民の皆様のご理解ご協力をお願いいたします

編集後記

謹賀新年

朝霧深く静寂の球磨川河畔にたたずみ、変わりゆく中川原を見つめ一抹の寂しさと過ぎ去りし日々を思い浮かべました。花火大会当日は、中川原一帯は露天商そして人々で混雑し中心商店街も夜遅くまで賑わっていました。大橋中央付近には消防署、その横には旅館、食堂があり、おくんち祭りでは神幸行列の御旅所となり、サーカス、見世物小屋などで大賑わいでした。改めて今昔を感じます。議会だよりは、編集委員一同、見やすく、親しみやすい紙面づくりに心がけてきました。今後も研鑽を積み、議員活動が見える議会だより発行に努めてまいります。議会も節目の年になりましたが、今年もよろしくお願いいたします。

（写真・文責：大塚 則男）

次の定例会は
3月の予定です

【議会報編集委員会】 委員長／西 信八郎 副委員長／大塚 則男
委 員／徳川 禎郁・宮原 将志・宮崎 保・豊永 貞夫・本村 令斗・田中 哲